

平成19年度

決算の概要

(一般会計・特別会計)



庄原市
SHOBARA CITY

目次

1 .	平成 19 年度決算のポイント	1
2 .	歳入決算の概要	3
	(1) 歳入決算の概要	
	(2) 市税の決算額について	
	(3) 地方交付税の決算額について	
3 .	歳出決算の概要	6
4 .	市民一人あたりで見る決算	8
	市民一人当たりの歳入決算額	
	市民一人当たりの市税決算額	
	市民一人当たりの市債残高	
	市民一人当たりの歳出決算額	
	参考資料	10
	特別会計決算の概要	
	公営企業会計決算の概要	
	比和財産区特別会計決算の概要	
	19 年度末の各基金残高	

表示単位未満を四捨五入して端数調整をしていないものがあるため、合計等と一致しない場合があります。

1. 平成19年度決算のポイント

《実質収支》 ほぼ前年度なみの4億5,109万円

19年度の一般会計決算における実質収支、いわゆる決算剰余金は、前年度に比べ616万円増の4億5,109万円となりました。

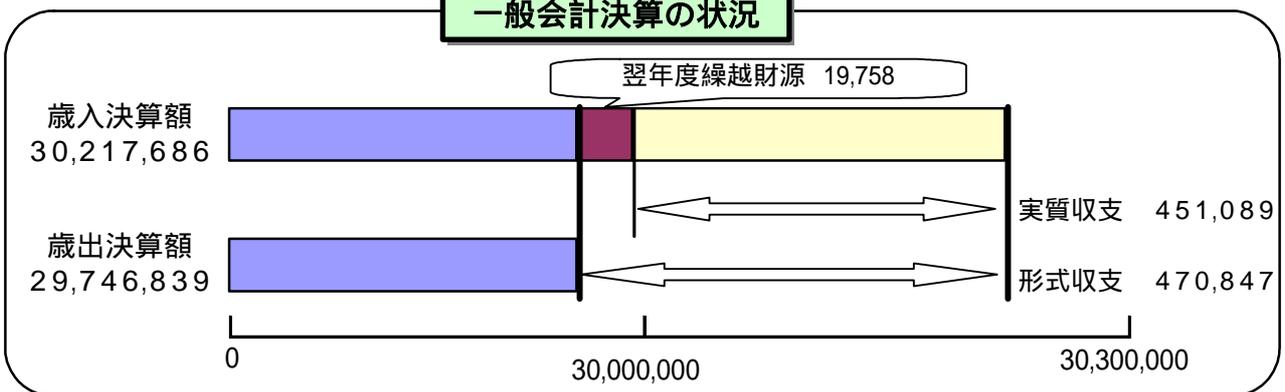
「持続可能な財政運営プラン」に基づく徹底的な歳出見直しと、広告事業や公有財産の売却など新たな財源の確保に努めた結果、前年度とほぼ同額の実質収支となりました。

【一般会計決算の状況】

(単位：千円、%)

	19年度	18年度	増減 -	増減比
歳入決算額 A	30,217,686	31,459,243	1,241,557	3.9
歳出決算額 B	29,746,839	30,892,301	1,145,462	3.7
形式収支 C = A - B	470,847	566,942	96,095	
繰越財源 D	19,758	122,013	102,255	
実質収支 E = C - D	451,089	444,929	6,160	

一般会計決算の状況



実質収支の推移

(単位：千円)



実質収支とは

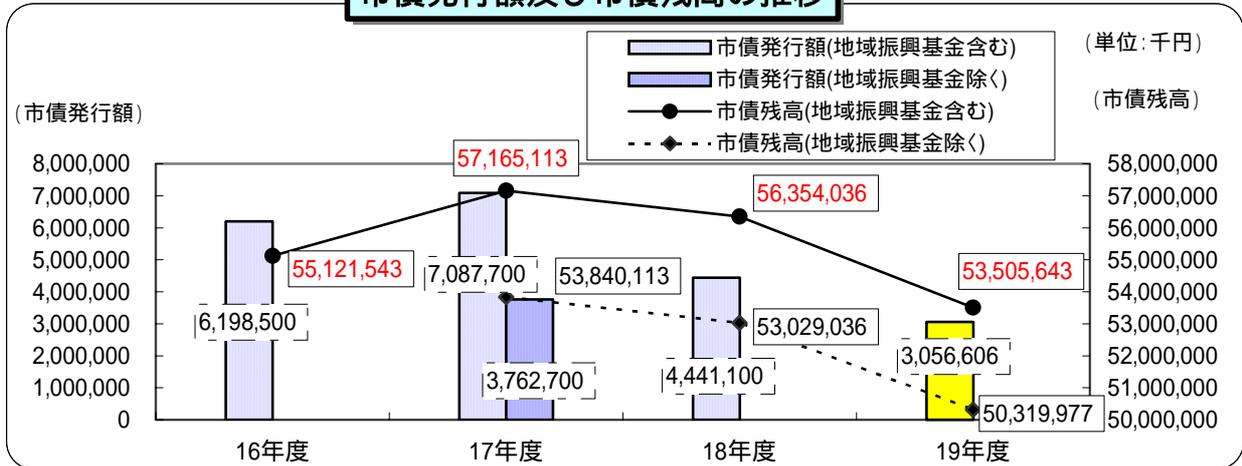
形式収支（歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いた額）から、翌年度に繰り越す事業に充てるための財源を差し引いたもので、当該年度に属すべき収入と支出の差を示しています。

その金額の1/2以上は財政調整基金に積み立てるか、または地方債の繰上げ償還を行うことになっており、残りは前年度繰越金として翌年度の歳入となります。

《市債》 市債の現在高は前年度より28億4,839万円の減少

19年度の一般会計の市債発行額は、18年度に策定した公債費負担適正化計画に基づき事業の選択と集中をおこなった結果、13億8,449万円(31.2%)減の30億5,661万円となりました。新市建設計画に基づく事業実施を行なう一方で、市債発行額を抑え、健全な財政運営を目指しています。

市債発行額及び市債残高の推移



【一般会計・各特別会計市債残高(純計処理前数値)】

(単位: 千円)

会 計	平成18年度末 残 高	平成19年度 発 行 額	平成19年度 元金償還額	平成19年度末 残 高
一 般 会 計	56,354,036	3,056,606	5,904,999	53,505,643
住 宅 資 金 特 別 会 計	97,848		24,139	73,709
歯 科 診 療 所 特 別 会 計	12,126		2,355	9,771
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 (直 診 勘 定)	32,153		6,230	25,923
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	6,446,113	314,400	282,780	6,477,733
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	3,784,644	328,300	72,203	4,040,741
浄 化 槽 整 備 事 業 特 別 会 計	64,500	52,900		117,400
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	2,972,552		145,406	2,827,146
工 業 団 地 造 成 事 業 特 別 会 計	557,300	347,400	414,451	490,249
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計	12,087		2,014	10,073
合 計	70,333,359	4,099,606	6,854,577	67,578,388

注: ダム対策事業特別会計は18年度末で廃止となったため、当該特別会計の地方債残高は一般会計へ引き継いだ。

公債費負担

適正化計画とは

実質公債費比率18%以上となる地方公共団体が、地方債の許可を受けるにあたって策定を義務付けられている計画で、総務大臣はこの計画の内容及び実施状況を勘案のうえ、地方債の発行を許可することとなっています。

庄原市においても、平成18年度に策定し、今後の地方債の借入れを必要最小限度に抑制するなど、公債費負担割合の適正管理に努めています。

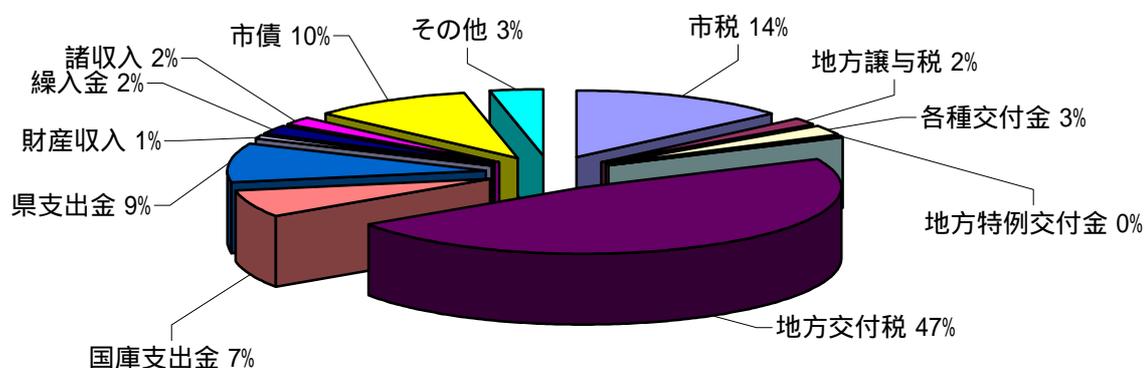
2. 歳入決算の概要

(1) 歳入決算の概要

平成19年度の一般会計決算額は、302億1,769万円（対前年度 3.9%）となりました。主な歳入の増減については以下のとおりです。

- 市 税** : 本格的な税源移譲の開始と、定率減税の廃止などに伴い、個人市民税が前年度比31.5%増の14億4,986万円となるなど、全体で4億3,797万円（11.9%）増の41億1,707万円となりました。
- 地方譲与税** : 税源移譲による所得譲与税の廃止などにより、前年度と比べ3億1,717万円（38.2%）減の5億1,374万円となりました。
- 地方交付税** : 普通交付税算定制度が19年度から大幅に改正され、地方に配慮した算定制度が導入されたことや、公債費の元利償還金（借金の返済に充てたお金）の増などにより、地方交付税全体で前年度と比べ5億314万円（3.6%）増の143億4,429万円となりました。
- 国庫支出金** : 合併団体に交付される合併補助金が、18年度で全て交付され19年度は皆減となりましたが、18年度災害の復旧事業にかかる補助金やバイオマス利活用交付金などの増により、前年度に比べ5,423万円（2.7%）増の20億6,483万円となりました。
- 県支出金** : 合併推進交付金が2億5,014万円（69.3%）の増、18年度災害の復旧事業にかかる補助金の増などにより、4億935万円（16.6%）増の28億6,952万円となりました。
- 財産収入** : 昨年度は備北地区の旧市町で造成していた、ふるさと振興基金出資金返納金など特殊要因があったため、2億6,193万円（54.6%）減の2億1,736万円となりました。
- 繰入金** : 財政調整基金の取り崩しを回避したことにより、前年度3億1,193万円（31.9%）減の、6億6,695万円となりました。
- 諸収入** : 災害共済金1億3,624万円の減などにより、全体では1億9,379万円（24.8%）減の5億8,679万円となりました。
- 市債** : 投資的経費の見直しによる普通建設事業費の減や、普通交付税の一部を振り替えられている臨時財政対策債が前年度比8,139万円減となったことなどにより、13億8,449万円（31.2%）減の30億5,661万円となりました。

平成19年度歳入決算額の構成比



■ 市税	■ 地方譲与税	□ 各種交付金	□ 地方特例交付金	■ 地方交付税	■ 国庫支出金
■ 県支出金	□ 財産収入	■ 繰入金	■ 諸収入	■ 市債	■ その他

【歳入決算額の前年度対比】

(単位：千円、%)

歳入項目	平成19年度		平成18年度		差引 A - B
	決算額 A	対前年度	決算額 B	対前年度	
市 税	4,117,070	11.9	3,679,104	0.1	437,966
地方譲与税	513,742	38.2	830,907	23.0	317,165
各種交付金	788,623	3.5	817,569	4.2	28,946
地方特例交付金	24,162	72.1	86,492	30.8	62,330
地方交付税	14,344,291	3.6	13,841,150	0.1	503,141
国庫支出金	2,064,828	2.7	2,010,603	1.4	54,225
県支出金	2,869,519	16.6	2,460,166	23.8	409,353
財産収入	217,364	54.6	479,297	1,333.8	261,933
繰入金	666,949	31.9	978,875	98.6	311,926
諸収入	586,793	24.8	780,581	62.0	193,788
市 債	3,056,606	31.2	4,441,100	37.3	1,384,494
その他	967,739	8.1	1,053,399	35.6	85,660
合 計	30,217,686	3.9	31,459,243	4.2	1,241,557

各種交付金とは、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金をいいます。

その他とは、分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金、繰越金をいいます。

(2)市税の決算額について

《市税》 前年度に比べ11.9%増、徴収率は87.6%に改善

個人市民税は、定率減税の廃止等の税制改正により前年度比31.5%の増額、固定資産税は総務大臣配分額の増により6.1%の増となりました。

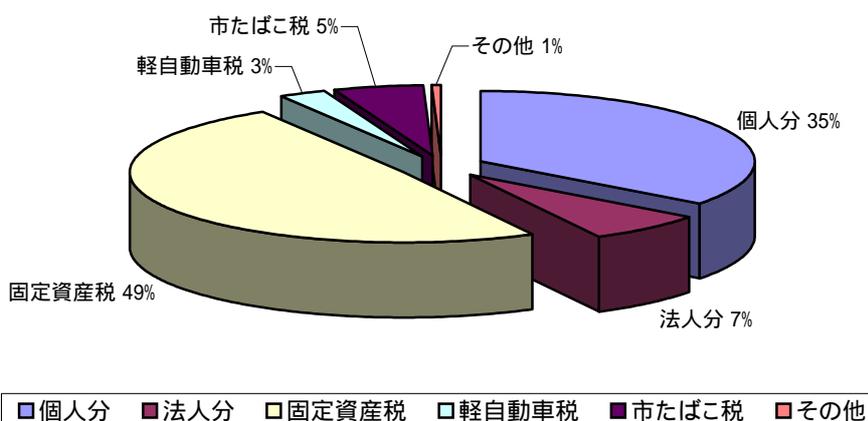
一方、地方経済の冷え込みを背景に法人市民税は7.1%の減、また軽自動車税、市たばこ税などについてはそれぞれ前年度を下回りました。税収全体では前年度比4億3,797万円(11.9%)増の41億1,707万円となりました。

【市税決算額の前年度対比】

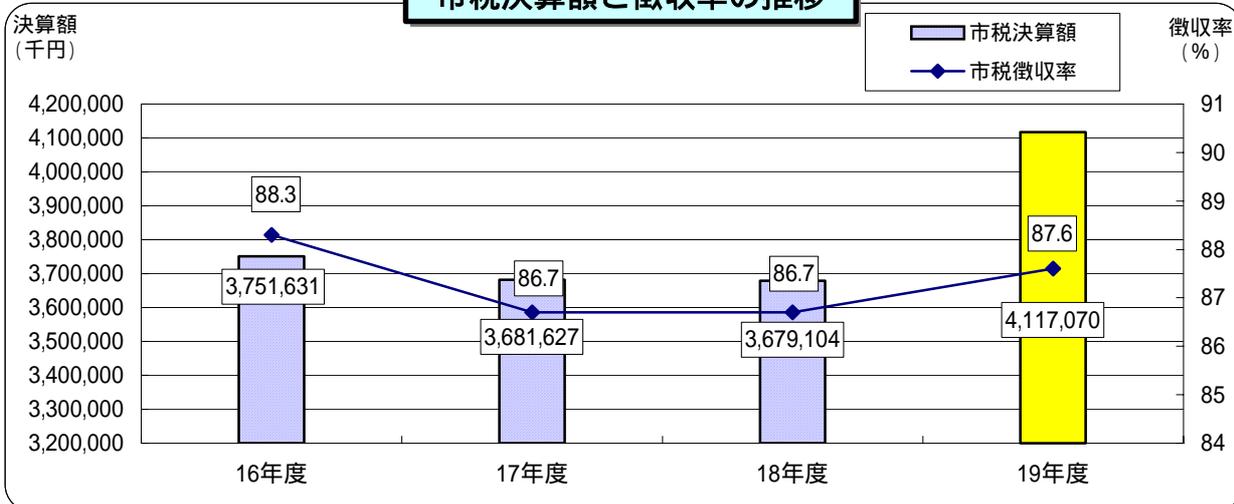
(単位：千円、%)

市税項目	平成19年度		平成18年度		差引 A - B
	決算額 A	対前年度	決算額 B	対前年度	
市 民 税	1,737,310	23.1	1,411,844	3.8	325,466
個人分	1,449,860	31.5	1,102,468	2.9	347,392
法人分	287,450	7.1	309,376	7.0	21,926
固定資産税	2,030,469	6.1	1,914,307	3.5	116,162
軽自動車税	111,621	0.6	112,259	3.7	638
市たばこ税	216,895	0.7	218,516	1.5	1,621
鉱産税	590	7.5	638	18.5	48
入湯税	20,185	6.3	21,540	59.0	1,355
合 計	4,117,070	11.9	3,679,104	0.1	437,966

平成19年度市税の構成比



市税決算額と徴収率の推移



(3) 地方交付税の決算額について

《地方交付税》 制度改正などにより前年度に比べ3.6%増

地方交付税は、普通交付税算定制度が19年度から大幅に改正され、過去の自治体の成果を算定に反映させる「頑張る地方応援プログラム」や、地方の厳しい実情に配慮した包括算定経費(「新型交付税」)の導入、またこれまで実施した事業にかかる公債費の元利償還金の増等により、普通交付税が前年度比6億3,114万円の増となりました。

一方、特別交付税は前年比1億2,800万円の減となりましたが、地方交付税全体では前年度と比べ5億3,144万円(3.6%)増の143億4,429万円となりました。

【地方交付税決算額の前年度対比】

(単位:千円、%)

地方交付税項目	平成19年度		平成18年度		差引 A - B
	決算額 A	対前年度	決算額 B	対前年度	
普通交付税	12,812,148	5.2	12,181,007	0.7	631,141
特別交付税	1,532,143	7.7	1,660,143	4.0	128,000
合計	14,344,291	3.6	13,841,150	0.1	503,141

歳出決算の概要

平成18年度に策定した「持続可能な財政運営プラン」に基づき、19年度も引き続き特別職・議員報酬や一般職給与など各種人件費及び内部管理経費の削減、各種団体・事業を対象とした補助金の適正化に取り組みました。また建設事業等の投資的経費については、事業の内容や効果を詳しく検討し、実施事業の選択と集中を行った結果、歳出総額は297億4,684万円（対前年度 3.7%）となりました。

議会費： 特例条例による報酬の減額等により、890万円（3.6%）減の2億3,873万円となりました。

総務費： 新産業創出事業への取り組みや、庁舎建設事業費、自治振興区支援事業等の増により、8億1,370万円（21.1%）増の46億7,766万円となりました。

民生費： 介護保険特別会計、国民健康保健特別会計への繰出金の減等により、4億5,435万円（7.8%）減の53億7,047万円となりました。

衛生費： 環境衛生費、清掃費にかかる施設管理費等の減により、1億4,693万円（7.3%）減の18億5,531万円となりました。

労働費： 昨年より融資預託金を20%減額し9,600万円となりました。

農林水産業費： 基盤整備促進事業（農道、水路整備）、農業集落排水事業特別会計繰出金の減により、9億1,463万円（31.0%）減の20億3,776万円となりました。

商工費： クロカンパーク整備事業、観光交流施設修繕の完了による減等により、7,328万円（13.9%）減の4億5,496万円となりました。

土木費： 道路新設改良事業、公共下水道事業特別会計繰出金の減、上野公園整備事業の完了等により、10億3,951万円（28.0%）減の26億6,780万円となりました。

消防費： ほぼ昨年度と同様の、1,341万円（1.2%）減の11億1,993万円となりました。

教育費： 中学校施設整備、庄原市運動広場整備事業等の完了、地区公民館から自治振興センターへの移行等により、3億8,938万円（14.6%）減の22億7,523万円となりました。

災害復旧費： 平成18年7月豪雨災害復旧事業により、4億8,765万円（46.4%）増の15億3,833万円となりました。

公債費： 平成17年度借入の地域振興基金造成にかかる合併特例債の元金償還開始等により、5億7,969万円（9.2%）増の68億8,931万円となりました。

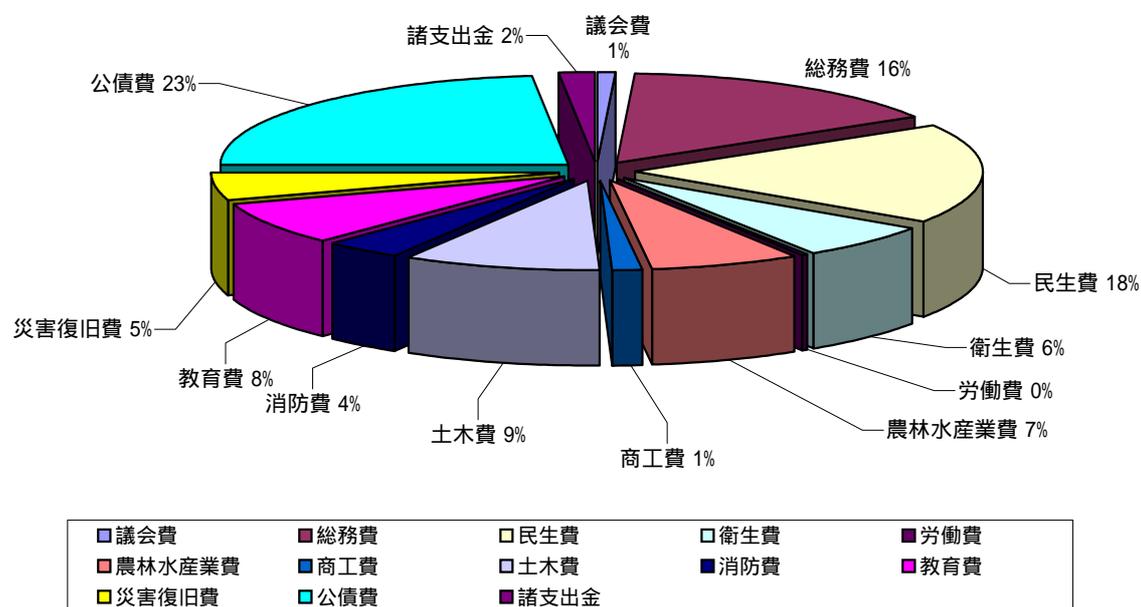
諸支出金： 財政調整基金及び減債基金積立の増により、3,790万円（7.8%）増の5億2,536万円となりました。

【歳出決算額の前年度対比】

(単位:千円、%)

歳出項目	平成19年度		平成18年度		差引 A - B
	決算額 A	対前年度	決算額 B	対前年度	
議会費	238,726	3.6	247,625	17.3	8,899
総務費	4,677,662	21.1	3,863,966	3.7	813,696
民生費	5,370,470	7.8	5,824,815	2.1	454,345
衛生費	1,855,314	7.3	2,002,245	5.4	146,931
労働費	96,000	20.0	120,000	0.0	24,000
農林水産業費	2,037,756	31.0	2,952,390	27.5	914,634
商工費	454,957	13.9	528,240	15.3	73,283
土木費	2,667,803	28.0	3,707,310	7.1	1,039,507
消防費	1,119,928	1.2	1,133,337	8.6	13,409
教育費	2,275,232	14.6	2,664,612	10.1	389,380
災害復旧費	1,538,330	46.4	1,050,683	172.5	487,647
公債費	6,889,306	9.2	6,309,621	4.1	579,685
諸支出金	525,355	7.8	487,457	87.6	37,898
合計	29,746,839	3.7	30,892,301	4.0	1,145,462

平成19年度歳出決算額の構成比



4. 市民一人あたりでみる決算

平成20年3月31日(平成19年度末)現在住民基本台帳人口: 42,165人

平成19年3月31日(平成18年度末)現在住民基本台帳人口: 42,807人

市民一人あたりの歳入決算額

歳入項目	平成19年度		平成18年度		一人あたり前年度対比	
	決算額(千円)	一人あたり(円)	決算額(千円)	一人あたり(円)	増減額(円)	増減率(%)
市 税	4,117,070	97,642	3,679,104	85,946	11,696	13.6
地方譲与税	513,742	12,184	830,907	19,411	7,227	37.2
各種交付金	788,623	18,703	817,569	19,099	396	2.1
地方特例交付金	24,162	573	86,492	2,021	1,448	71.6
地方交付税	14,344,291	340,194	13,841,150	323,338	16,856	5.2
国庫支出金	2,064,828	48,970	2,010,603	46,969	2,001	4.3
県支出金	2,869,519	68,055	2,460,166	57,471	10,584	18.4
財産収入	217,364	5,155	479,297	11,197	6,042	54.0
繰入金	666,949	15,818	978,875	22,867	7,049	30.8
諸収入	586,793	13,917	780,581	18,235	4,318	23.7
市 債	3,056,606	72,492	4,441,100	103,747	31,255	30.1
その他	967,739	22,951	1,053,399	24,608	1,657	6.7
合 計	30,217,686	716,653	31,459,243	734,909	18,256	2.5

市民一人あたりの市税決算額

市税項目	平成19年度		平成18年度		一人あたり前年度対比	
	決算額(千円)	一人あたり(円)	決算額(千円)	一人あたり(円)	増減額(円)	増減率(%)
市 民 税	1,737,310	41,203	1,411,844	32,982	8,221	24.9
個人分	1,449,860	34,385	1,102,468	25,754	8,631	33.5
法人分	287,450	6,817	309,376	7,227	410	5.7
固定資産税	2,030,469	48,155	1,914,307	44,719	3,436	7.7
軽自動車税	111,621	2,647	112,259	2,622	25	1.0
市たばこ税	216,895	5,144	218,516	5,105	39	0.8
鉱産税	590	14	638	15	1	6.7
入湯税	20,185	479	21,540	503	24	4.8
合 計	4,117,070	97,642	3,679,104	85,946	11,696	13.6

市民一人あたりの市債残高

会 計	平成19年度末		平成18年度末		一人あたり前年度対比	
	残高(千円)	一人あたり(円)	残高(千円)	一人あたり(円)	増減額(円)	増減率(%)
一 般 会 計	53,505,642	1,268,959	56,354,036	1,316,468	47,509	3.6
住 宅 資 金 特 別 会 計	73,709	1,748	97,848	2,286	538	23.5
歯 科 診 療 所 特 別 会 計	9,771	232	12,126	283	51	18.0
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 (直 診 勘 定)	25,923	615	32,153	751	136	18.1
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	6,477,733	153,628	6,446,113	150,585	3,043	2.0
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	4,040,741	95,832	3,784,644	88,412	7,420	8.4
浄 化 槽 整 備 事 業 特 別 会 計	117,400	2,784	64,500	1,507	1,277	84.7
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	2,827,146	67,050	2,972,552	69,441	2,391	3.4
工 業 団 地 造 成 事 業 特 別 会 計	490,249	11,627	557,300	13,019	1,392	10.7
宅 地 造 成 事 業 特 別 会 計	10,073	239	12,087	282	43	15.2
合 計	67,578,387	1,602,713	70,333,359	1,643,034	40,321	2.5

注：ダム対策事業特別会計は18年度末で廃止となったため、当該特別会計の地方債残高は一般会計へ引き継いだ。

市民一人あたりの歳出決算額

歳 出 項 目	平成19年度		平成18年度		一人あたり前年度対比	
	決算額(千円)	一人あたり(円)	決算額(千円)	一人あたり(円)	増減額(円)	増減率(%)
議 会 費	238,726	5,662	247,625	5,785	123	2.1
総 務 費	4,677,662	110,937	3,863,966	90,265	20,672	22.9
民 生 費	5,370,470	127,368	5,824,815	136,072	8,704	6.4
衛 生 費	1,855,314	44,001	2,002,245	46,774	2,773	5.9
労 働 費	96,000	2,277	120,000	2,803	526	18.8
農 林 水 産 業 費	2,037,756	48,328	2,952,390	68,970	20,642	29.9
商 工 費	454,957	10,790	528,240	12,340	1,550	12.6
土 木 費	2,667,803	63,271	3,707,310	86,605	23,334	26.9
消 防 費	1,119,928	26,561	1,133,337	26,476	85	0.3
教 育 費	2,275,232	53,960	2,664,612	62,247	8,287	13.3
災 害 復 旧 費	1,538,330	36,484	1,050,683	24,545	11,939	48.6
公 債 費	6,889,306	163,389	6,309,621	147,397	15,992	10.8
諸 支 出 金	525,355	12,460	487,457	11,387	1,073	9.4
合 計	29,746,839	705,487	30,892,301	721,665	16,178	2.2

参 考 資 料

特別会計

【特別会計決算の概要（平成19年度）】

単位：千円

会 計 名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 C = A - B	繰越財源 D	実質収支 E = C - D
住宅資金特別会計	29,577	29,577	0		0
歯科診療所特別会計	24,755	24,754	1		1
国民健康保険特別会計	4,727,453	4,695,726	31,727		31,727
国民健康保険特別会計 （直診勘定）	95,338	92,125	3,213		3,213
老人保健特別会計	7,472,583	7,461,812	10,771		10,771
介護保険特別会計	4,418,804	4,380,801	38,003		38,003
介護保険サービス事業特別会計	41,716	36,733	4,983		4,983
公共下水道事業特別会計	1,434,097	1,429,629	4,468		4,468
農業集落排水事業特別会計	948,689	948,272	417		417
浄化槽整備事業特別会計	172,684	170,139	2,545		2,545
簡易水道事業特別会計	357,920	349,571	8,349		8,349
工業団地造成事業特別会計	430,358	425,358	5,000	5,000	0
宅地造成事業特別会計	2,181	2,181	0		0
合 計	20,156,155	20,046,678	109,477	5,000	104,477

公営企業会計

【公営企業会計決算の概要（平成19年度）】（単位：千円）

区 分	水道事業	病院事業
営（医）業収益	528,945	1,367,602
営（医）業費用	478,742	1,476,930
営（医）業利益（損失）	50,203	109,328
営（医）業外収益	136,380	118,482
うち一般会計等繰入金	104,319	100,537
営（医）業外費用	182,619	48,386
うち企業債支払 利息及び取扱諸費	178,053	18,039
経常利益（損失）	3,964	39,232
特別利益（損失）	497	0
当期純利益（損失）	3,467	39,232

比和財産区特別会計

【比和財産区特別会計決算の概要（平成19年度）】

単位：千円

	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 C = A - B	繰越財源 D	実質収支 E = C - D
比和財産区特別会計	2,397	2,256	141		141

参 考 資 料

基金残高

【各基金残高（平成19年度末）】

（単位：千円、㎡）

基金名		18年度末残高 A	19年度末残高 B	19年度中の異動 C = B - A	【参考】平成20年 8月31日現在残高
庄原市財政調整基金		1,306,333	886,811	419,522	1,435,023
庄原市減債基金		85,580	85,580	0	285,707
庄原市庁舎建設基金		607,624	600,481	7,143	450,150
庄原市公共施設整備基金		817,201	0	817,201	19年度末廃止
庄原市地域振興基金	有価証券	3,000,000	2,600,000	400,000	3,981,000
	現金	988,869	1,388,869	400,000	9,298
庄原市上野公園及び胸像管理基金		5,106	5,106	0	5,106
庄原市ふるさと・水と土の保全基金		7,510	7,510	0	7,510
庄原市大富山城築城450年記念基金		2,268	2,268	0	2,268
庄原市妹尾基金		1,777	1,500	277	1,500
庄原市奨学金基金		7,523	6,431	1,092	6,431
庄原市国民健康保険財政調整基金		745,314	746,665	1,351	746,665
庄原市国民健康保険高額療養費貸付基金		10,000	10,000	0	10,000
庄原市国民健康保険総領診療所基金		7,270	7,270	0	7,270
庄原市介護給付費準備基金		219,138	208,585	10,553	208,585
庄原市東城三坂地区簡易水道施設整備基金		17,229	10,509	6,720	10,509
庄原市農業集落排水事業 減債基金	有価証券	-	87,000	87,000	133,000
	現金	87,300	46,934	40,366	982
庄原市浄化槽整備基金	有価証券	-	-	-	23,000
	現金	-	23,100	23,100	1,924
庄原市土地開発基金	土地	61,727.25㎡	61,364.37㎡	362.88㎡	61,364.37㎡
		231,662	209,862	21,800	209,862
	現金	54,874	76,674	21,800	76,674
庄原市比和財産区基金	有価証券	90,000	90,000	0	90,000
	現金	50,634	51,033	399	50,357
合 計	有価証券	3,090,000	2,777,000	313,000	4,227,000
	土地	61,727.25㎡	61,364.37㎡	362.88㎡	61,364.37㎡
		231,662	209,862	21,800	209,862
	現金	5,021,550	4,165,326	856,224	3,315,959